

陰陽石

苔に覆われた二つの岩は、陰と陽の岩として知られている。 高くて幅の狭い岩は男性（陽）を表し、低くて幅の広い岩は女性（陰）の岩を表している。 これらの岩は繁殖力に関連しており、安産を祈るために楊柳観音堂を訪れると、カップルはしばしばここで立ち止まっている。

開山堂周辺のこの地域に、多産と出産との関連の理由がある。 日光に多くの寺院を設立し、近くの開山堂に安置されている勝道上人（735-817）は、観音菩薩と地蔵菩薩の両菩薩に特別なつながりを感じた。 勝道上人は日光で観音菩薩と地蔵菩薩の両菩薩の幻を見た。

楊柳観音は隣接する建物に祀られており、衆生を助ける菩薩である地蔵は、やはり勝道上人像近くの開山堂に安置されており、勝道上人は開山堂の後ろに埋葬されている。

子供と家族のテーマは、日光の神聖な山々で表現されている。 仏教と神道の本地仏であると考えられている3つの山は家族を形成している。 男体山は父親であり、母親は女峰山、そして子供は太郎山。